

(概要版)

互いに認め合うことができる学級づくりの工夫

—生徒のよりよい人間関係を構築するための自作「学校行事ノート」の活用を通して—

研究の概要

長期研修員 小川 昌美

本研究では、生徒指導の三つの視点を踏まえた特別活動の指導が進められるように、自作「学校行事ノート」の活用を通じた授業実践を行った。「KJ法」と「概念化シート」による話し合い活動で意見を引き出したり、相互評価による自分自身のよさを認識したりする学級活動を行うことによって、生徒一人一人の自己存在感が高まると共に、互いに認め合うことができる学級づくりにつながった。

互いに認め合うことができる学級

よりよい人間関係の育成

③振り返り活動

自分や友達のよさを理解し合う

④価値の共有化

自分たちで作り上げたことを実感する

自作「学校行事ノート」

～生徒指導の三つの視点～

1. 自己存在感を与える
2. 共感的な人間関係を育成する
3. 自己決定の場を与える

②「KJ法」「概念化シート」による話し合い活動

一人一人の意見を引き出す

①学級のスローガン・個人目標の設定

行事に対する取組の意欲を高める

生活を改善するための意図的な話し合い活動を充実させる



体験を通して、感じたことや学んだことを振り返る活動を充実させる



○自分に自信がもてず、人間関係に不安

○好ましい人間関係を築けず、社会性の育成が不十分



学校行事ノート

・記録が残る
・先が見通せる

・一人一人のよさと成長が見える
・主体的な行動につながる

成長の記録

成長の記録 No. 1

年 組 番 氏名 ()

学級の
スローガン
個人目標
または
考慮の目標

1 今週の自分の取り組みを記録しておく。

月/日 (曜日)	実行内容 (行動)	感想(「こんなことを経験していた」や「こんなことにチャレンジした」など具体的な内容を記入)
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()

2 今週の友達の頑張りを記録しておく。

月/日 (曜日)	氏 名	「こんなことを頑張っていた」や「こんなことにチャレンジした」など具体的な内容を記入
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()
✓ ()	()	()

3 振り返り 1. できた 2. 途中でできた 3. やりきれなかった 4. できなかった

自分の頑張りを褒めることができたか。	1	2	3	4
友達の良いところを褒めることができたか。	1	2	3	4
自分の考えは、自分の考えをまとめる工夫ができたか。	1	2	3	4
自分の考えや自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4

スローガンを決めよう

合唱コンクールのスローガンを決めよう

年 組 番 氏名

目標なくして頑張るべきではない。目標は心の中で決める。目標に向かって頑張る。合唱コンクールを成功させるために頑張る。

I この合唱コンクールを通して、どんなクラスにしたいのか、どんなクラスになっているのが理想か考えてみよう。

II Iのキーワードを基に、自分なりのスローガンを考えてみよう。

III 自分の考えたスローガンや友達考えたスローガンを基に、誰かおに話合いよりよいスローガンを考えてみよう。

振り返り 1. できた 2. 途中でできた 3. やりきれなかった 4. できなかった

自分の考えをまとめることができたか。	1	2	3	4
自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4
自分の考えは、自分の考えをまとめる工夫ができたか。	1	2	3	4
自分の考えや自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4

個人目標

合唱コンクール個人目標

年 組 番 氏名

私の目標に込められた思い

響き合う合唱コンクールにしよう

響き合う合唱コンクールにしよう

年 組 番 氏名

さらに仲間らしい準備をするために、今までの取り組みを振り返り、さらなる成長の目標を設定しよう。

I 各組で、今までの取り組みのよかった点と課題を挙げて見よう。

よかった点	課題
()	()
()	()

II 今までの取り組みのよかった点を基に、さらに、響き合う歌にするための具体的な方法について話し合おう。

課題	具体的な方法
()	()
()	()

振り返り 1. できた 2. 途中でできた 3. やりきれなかった 4. できなかった

自分の考えをまとめることができたか。	1	2	3	4
自分の考えを基に、自分の考えをまとめる工夫ができたか。	1	2	3	4
自分の考えや自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4

合唱コンクールを振り返って

合唱コンクールを振り返って

年 組 番 氏名

今年度は、合唱コンクールへの取り組みを通して、合唱コンクールから、どんなことを学んだか振り返り、合唱コンクールを成功させるために、どんなことに取り組み、気づきがあったか。

II 合唱コンクールから学んだこと、得たことなど何ですか。

決めた3つの目標(「自分の考えをまとめる」「友達と話し合い活動すること」「自分の考えを基に、具体的な目標を設定すること」)

私が選ぶ、MVP!

私が選ぶ、MVP!

年 組 番 氏名

私が選ぶ、MVPは、

さん くん です!

選んだ理由

自作「学校行事ノート」の
合唱コンクール版の例

教師用指導書



指導の
ポイントが
分かる

生徒の変容に
気付く

指導のポイント

「学校行事ノート」の指導の
ポイント・生徒指導の三つの
視点・展開例

意欲的に取り組ませるための
指導の工夫 (合唱コンクール版のみ)

「KJ法」と「概念化シ
ート」を用いた話し合い活動の指
導のポイント

展開例

- ポイント1**
○年頃のビデオを見る。
○合唱コンクールの目標を確認する。
○KJ法を用いた話し合い活動を行い意見を出させる。
- ポイント2**
○学級目標を基にした今までのクラスの課題を思い出させたりして、目標やクラスのみんながどんなクラスにしたいのか、その思いを書かせる指導する。
- ポイント3**
○スローガンが考えられない生徒に対しては、Iの話し合いをヒントに自分の思いに合うキーワードを思い出させ、それをつなげてスローガンを考えるようにアドバイスする。
- ポイント4**
○話し合いの振り返り、自分の思いの理解し、その尊重しなげによりよいスローガンを決めるとともに、話し合うことで、さらによいものになることを実感させる。

合唱コンクールのスローガンを決めよう

年 組 番 氏名

目標なくして頑張るべきではない。目標は心の中で決める。目標に向かって頑張る。合唱コンクールを成功させるために頑張る。

I この合唱コンクールを通して、どんなクラスにしたいのか、どんなクラスになっているのが理想か考えてみよう。

II Iのキーワードを基に、自分なりのスローガンを考えてみよう。

III 自分の考えたスローガンや友達考えたスローガンを基に、誰かおに話合いよりよいスローガンを考えてみよう。

振り返り 1. できた 2. 途中でできた 3. やりきれなかった 4. できなかった

自分の考えをまとめることができたか。	1	2	3	4
自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4
自分の考えは、自分の考えをまとめる工夫ができたか。	1	2	3	4
自分の考えや自分の考えを基に、具体的な目標を設定することができたか。	1	2	3	4

生徒指導の
三つの視点

展開例「合唱コンクールのスローガンを決めよう」

ねらい：自分の考えをまとめる、話し合い活動を行い意見を出させる。

時間：15分

準備：「KJ法」

20分

I 合唱コンクールを通して、どんなクラスにしたいか考える。

指導上の留意点・支援
・学年集会で教師や実行委員から、合唱コンクールの目的や成功させるために大切なことを話しておき、合唱コンクールへの取組の意欲を高めておく。
・「学校行事ノート」に自分の考えを書かせてから、付録紙に自分の考えを書かせる。
・各組で自分が書いた付録紙を発表用ワークシート貼りながら、そう考えた理由を説明する。
・班全員が発表し終わったら、「KJ法」により分類し、相談しながらかの見出しを付ける。

10分

II 自分のスローガンを考える。

各組で考えたスローガンを基に、自分なりのスローガンを考える。自分としては、どんな思いで合唱コンクールの楽しみなのかその思いをキーワードとして盛り込むよう指導する。

20分

III 班でクラスのスローガンを考える、発表する。

各組で考えたスローガンを発表し、クラスのスローガンを決めるために、話し合いよりよいスローガンにしよう。
・各自そのスローガンにした理由を明確に述べ、自分の思いを伝えると共に、友達の良いところ、友達の思いも尊重しながら、思いを言葉にまとめ表現してけるよう指導していく。
・思いや願いが輝くことを感じつつ、どこに重点を置いたスローガンにするのか話し合うことが重要である。その重点を置いたスローガンにするのか話し合うことが重要である。その重点を置いたスローガンにするのか話し合うことが重要である。その重点を置いたスローガンにするのか話し合うことが重要である。

教師用指導書の構成

授業実践

学級活動「スローガンを決めよう」

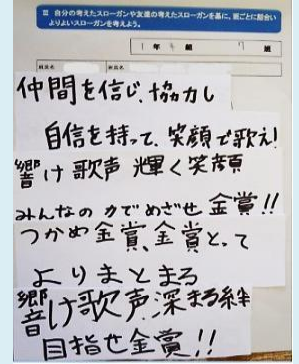
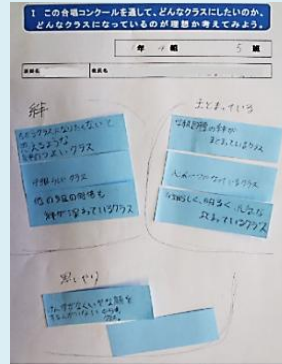
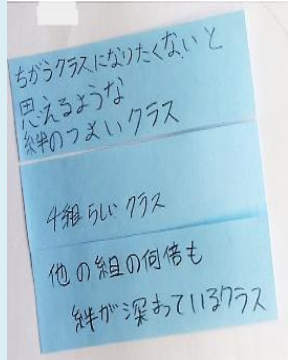
～KJ法を用いた話し合い活動～

自分の考えをまとめる(自己決定する)

自分の思いや考えを伝える

自分の意見も大切に扱ってもらえる

自己存在感を感じることができる



付箋紙に自分の意見を書く

一人一人が意見を出し合う

班全員の意見を尊重しながら分類して小見出しを付ける

班全員の意見を参考にしてスローガンを考える

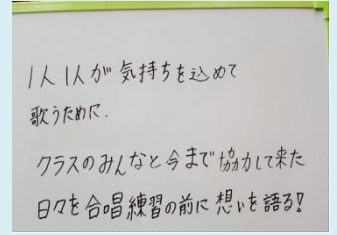
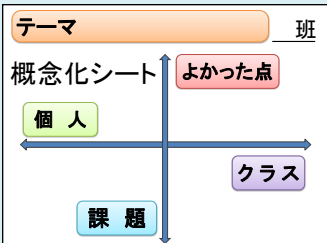
学級活動「響き合う合唱コンクールにしよう」～概念化シートを用いた話し合い活動～

自分の考えをまとめる(自己決定する)

よかった点と課題が明確になる

様々な意見があることを知る

自分の意見と友達の見解の折り合いをつける(集団決定する)



よかった点と課題は色分けした付箋紙に書く

概念化シートによかった点と課題を貼っていく

実物投影機を使って大きく映して発表する

改善策をホワイトボードに書きクラス掲示する

学級活動「私が選ぶ、MVP！」

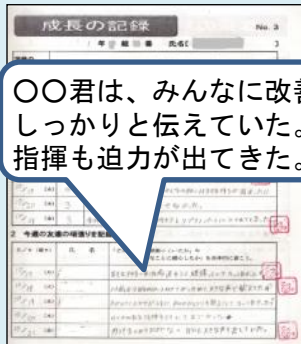
～合唱コンクールを振り返って～

友達のよさに気付く

友達の発表を聞いて自分のよさに気付く

互いに認められていると感じる

〇〇君は、みんなに改善点をしっかりと伝えていた。また、指揮も迫力がでてきた。



僕は、責任感のある〇〇君を選びました。自分から進んで指揮者に立候補して、みんなをまとめていたからです。指揮者としての役割もきっちり果たしていました。とても面白いときもあれば、みんなに強く指示しているときもありました。反省点をいくつか出して、次はその反省点を直そうとみんなと話し合っていました。



成長の記録を参考に友達を選んだ理由を記入する

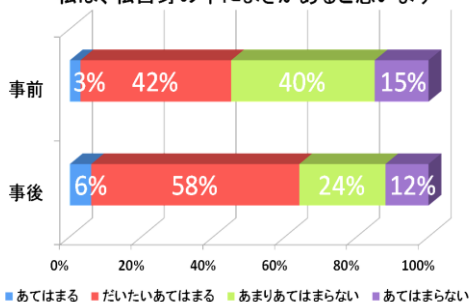
友達を選んだ理由をクイズ形式で発表する

活動を振り返り自分のよさと授業の感想を書く

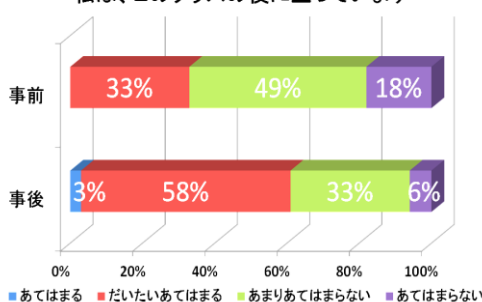
結果と考察

自己存在感の高まり

私は、私自身の中によさがあると思います



私は、このクラスの役に立っています

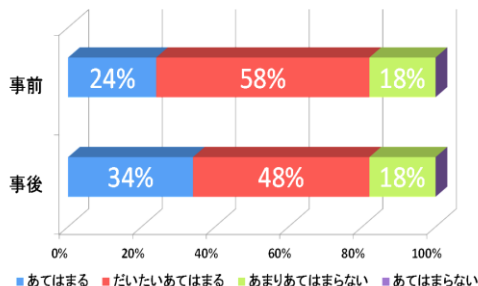


一人一人が意見を発表し、それを基に、話し合いが展開していくため、自分の意見が認められ、クラスの役に立っていると感じることができた。

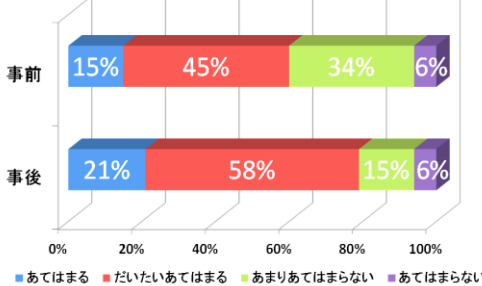


共感的な人間関係の深まり

私は、友達のよい面を積極的に見るようにしています



私は、友達から認められています



学級活動での振り返り活動や学年集会での価値の共有化を通して、友達のよさを認めたり、友達から自分のよさを認められたりすることができた。



信じてもらえるか分からないけど、ステージに上がったとき、私たちは、星のようでした。そして、宇宙にいたようでした。一つ一つの言葉に感情を込めて歌い、みんなの一人一人に対する思いは見えないけれども、私にはその輝きを感じることができました。クラスの絆って、こういうものなんだと思いました。結果発表のとき、私は、素晴らしい仲間に出会えてよかったと思いました。私は大泣きをしました。そして、うれしくて、うれしくて、たくさん笑いました。また、感謝しているのは、担任の〇〇先生です。クラスのみんなを信じてくれたからこそ金賞が取れたのだと思います。（「COSMOS」を歌った生徒の感想より）



まとめ

成果

- 付箋紙を用いた話し合い活動は、生徒一人一人の意見が反映されたり尊重されたりするので、自己存在感を高めるのに有効であった。
- 友達のよさを認める記述が生活ノートでも日を追うごとに多くなり、共感的な人間関係の育成につながった。

課題

- 一人一人の考えを伝えることは、自己存在感を高めるのに重要なことである。しかし、情報を共有化するために発表用のワークシートにまとめてしまうと時間がかかってしまうのが欠点であった。そこで、内容を生徒に確実に伝えるためには、ICT機器を活用していくなどの発表の時間を短縮する工夫が必要である。
- 生徒一人一人のよさを認める具体的な事例もさらに載せ使いやすいものにしていく必要がある。